



川総 第 377 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

川西町長 上田 直朗



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

奈良県川西町

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、住民生活や経済・社会活動を支える基礎的な社会基盤であり、道路整備を推進することは、活力ある地域社会形成や安全で快適な生活を実現するうえで、必要不可欠な施設である。

しかしながら、現状では、道路整備の状況は、地域により相当格差が生じており、整備が遅れている地域については、優先的、重点的な整備を行うと共に、主要幹線道路のボトルネックの解消をはかり、道路網の整備と県道、市町村道に至る体系的なネットワークの形成が必要である。

また、日頃利用している道路に目を向けると、通学路等の歩道整備、バリアフリー化、交通安全対策、沿道の大気汚染・騒音問題への対応と共に、橋梁等の道路工作物の老朽化への対応として、予防的補修による延命化、計画的な維持更新が緊急の課題となっている。

一方、それを支えてきた道路特定財源は、本年 5 月の閣議決定で「21 年度から一般財源化する」こととされたが、同時に必要と判断される道路は、着実に整備する旨も明記されているところであり、道路整備が果たす役割を軽視することなく、特に地方における道路整備の重要性を深く認識され、地域の実情に十分配慮しながら、必要な道路整備のための財源を確保することが必要である。

これらをふまえ、次の改善、要望をするものである。

- ・ 地域間の整備格差是正にむけた優先的、重点的な整備。
- ・ 地域間交流による地域活性化、救急医療施設への搬送時間短縮等を図るため、高規格幹線、主要地方道をはじめ、アクセスまでを考慮した道路網としての連結を考えた一体的な整備。
- ・ 上記を実現し、また、既存道路の適切な維持管理ができる財源の国、地方を通じた確保。

今後の道路行政についての意見・提案

奈良県川西町

②－１ 地域の現状と抱える課題

(現状)

県内の状況をみると、県では、高規格幹線道路をはじめ幹線道路の整備が進められており、県の南北を縦断する大動脈である京奈和自動車道の大和道路の一部供用により、渋滞の解消に寄与しているものの、京奈和自動車道下の国道二十四号線バイパスやこれにアクセスする主要地方道等の改良整備が不十分な状況であり、その他大和中央道、天理街道（国道１６８号線）なども整備が不十分なことから災害時や救急医療施設へのアクセス向上のためにも早急に連結的な整備を図る必要があります。

また、県外との道路アクセスにおいても、阪奈道路、第二阪奈道路、西名阪自動車道、南阪奈道路が整備され、大阪中心部や関西国際空港などへのアクセス時間の短縮に貢献していますが、各道路のインターチェンジへアクセスする一般道が十分に整備されておらず、大きなタイムロスの問題を抱えています。

一方、日頃利用している道路に目をむけると、高度成長期に整備してきた道路及び道路構造物（橋梁等）は、老朽化が進み、予防的補修による延命化、計画的な維持更新が緊急の課題となっているところです。

道路改良率（奈良県） ４４．７％（全国平均５７．７％）
一般国道改良率（奈良県） ６９．５％（全国平均９０．６％）

(課題)

１、道路整備の地域間格差の是正

地域の道路整備状況等、現状をふまえた重点的、優先的整備

２、生活基幹道路の整備及び橋梁等の維持更新

日常生活を支える生活幹線道路の整備、通学路等の歩道整備、バリアフリー化、交通安全対策、沿道の大気汚染・騒音問題、予防的補修による延命化、計画的な維持更新

３、地域間交流を促進する基幹道路の整備とアクセスの確保

高規格幹線道路、地方主要道及びそれらへのアクセスを含めての道路網としての一体的整備

４、以上を支える財源の確保

国、地方を通じての必要な予算の確保

地方道路整備臨時交付金の拡充、地方道路整備臨時貸付金の継続等

今後の道路行政についての意見・提案

奈良県川西町

②－２ 地域の目指すべき将来像

１、地域に応じた道路整備の実現

地域の道路整備状況等、現状をふまえた重点的、優先的整備により、都市・地方に限らず、地域を支える社会基盤としての道路が整備されている。

２、生活基幹道路及び橋梁等の維持更新の適正実施

日常生活を支える生活幹線道路の整備、通学路等の歩道整備、バリアフリー化、交通安全対策、沿道の大気汚染・騒音問題への対応と予防的補修による延命化、計画的な維持更新が、適正になされている。

３、基幹道路の整備とともに、アクセスが確保され、道路網としての一体的に整備

高規格幹線道路、地方主要道及びそれらへのアクセスを含め道路網としての一体的整備が、計画的になされ、地域間交流をはじめ、地域活性化に大きな役割を果たしている。